
とびっきりの嘘を君に。

篠原 ひなた

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とびつきりの嘘を君に。

【Nコード】

N5502G

【作者名】

篠原 ひなた

【あらすじ】

4月1日、エイプリルフル。世界中で、新聞や国営テレビ局もが嘘のニュースを流す日だ。だから僕も、とびつきりの嘘を紡ごうと思う。今日でなければ、こんな嘘は紡げない。そんな嘘を、今日だけは紡ごうと思う。

とびっきりの嘘を紡ごう。

今日は、それが赦される日なのだから。

とびっきりの嘘を紡ごう。

僕が語りたいと願うから。

世界はとても平和だ。

暴力に脅えない生を、誰もがまっとうできる。

安全な場所で目を覚ますことができるし、今日の食事について不安を感じることもない。

世界は、とても平和だ。

子どもたちは、生まれた瞬間に世界から祝福される。

生まれてきてくれて、ほんとうにありがとう。

一緒にしあわせになろうね。

ひかりに唄われて、子どもたちは約束する。

この人生を楽しむよ、と。

彼らは、おだやかに育つ。自分を他者を世界を愛し、同時に愛されて。

ひかりのなかで育つ。

そうしていつか大人になった彼らは、たすけあいながら世界を創る。

優しい世界だ。誰も誰かを傷つけなくていい、傷つけなくても生

きていける世界だ。

苦しいことがないわけじゃない。人は死ぬし、病気にもなる。仕事をしてお金を稼ぐ必要があるし、勉強することも山のようにある。もちろん、相性が合わない人だっている。

それでも、世界は平和で優しい。

誰もが覚えているからだ。楽しむよ、と約束した時のことを。

だから、苦しいことがあっても世界は優しい。誰もがたった一つの事実で繋がっている。昨日も今日も明日も、はるかなる未来でも、楽しんで生きていくという約束が、誰一人としておいていかない。

そこには、苦しみはあっても絶望はない。毎日は希望に満ちていて、人は自分をそうするように人を愛する。時に泣き、怒ることもあるけれど、その事実すら楽しんで生きてゆく。病にあっても、年老いても、障害をもっても、願うように望むように、自分の思う自分を他の誰とも分かちあって支えあって生きてゆく。

いつか死ぬときも、彼らは楽しみながら笑って逝くのだ。約束を果たしたことを誇りに思いながら。

今、君はきつと、失笑しただろう。

ああ、そうだ。

これは嘘だ。

僕が紡ぎうるなかでもとびっきりの、とびっきりすぎて今日しか紡げないような、どうしようもない嘘だ。

今日。僕の親友が車に乗って行った。

荷物は送ってしまったとかで旅行用の鞆を一つ下げただけの彼は、この間一緒に買いに行ったGパンにGジャン姿の、まるで遊びに行

くような出で立ちだった。見送りは僕だけで、その僕も似たような格好だったのに迎えにきた男性はスーツ姿で、さすがに気恥かしさを覚えずにはいられなかった。

結局。てきばきと荷物を積み込む彼に告げることができたのは、気をつけて行って来いよ、という一言だけだった。もっと気の利いたことが言えるほど饒舌だったらよかったのに。

僕はただ、車が見えなくなるまでその場に立ち尽くしていた。そうして、しばらくぼうっと立ち尽くして僕は気づく。

親友が乗って行ったのは、何の変哲もない車だったが、普通のそれらと異なるところが一つだけあった。

その車は、僕が見たこともないナンバープレートをつけていたのだ。

地名も、ひらがなもない、数字だけのプレートだ。

たったそれだけの違いに、僕は慄然とした。

たったそれだけのことが僕と彼の世界を分けたのだということを、いまさら実感したからだ。

明日から彼は、制服を着て銃を持つ。

明日から僕は、スーツを着てペンを持つ。

そこに是非を問うことを僕はしない。

ただ、僕は今日、この嘘をつく。

だってそうだろう？

この世界を、悔やみながら悩みながら嘆きながら、傷つけあわずにはけっして生きてはいけないこの世界を、それでもなんとか生きようとする君に、楽しんで生きていけと言えるはずがない。

だからこれは、とびつきりでありきたりな、ただの嘘だ。

(後書き)

はじめまして。もしくは、お久しぶりです。

この物語を読もうと思つて読んでくださったあなた、
たまたま行き会つて読んでくださったあなた、もう一度と読まな
いぞと思われたあなた。

あなたがそこに居てくださることが嬉しいです。

この物語を読んでくださつてありがとうございます。

感想・ご批評、誤字・脱字のご指摘などいただけると嬉しいで
す。

(明日への活力になります)

どうぞよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5502g/>

とびっきりの嘘を君に。

2010年10月16日00時03分発行